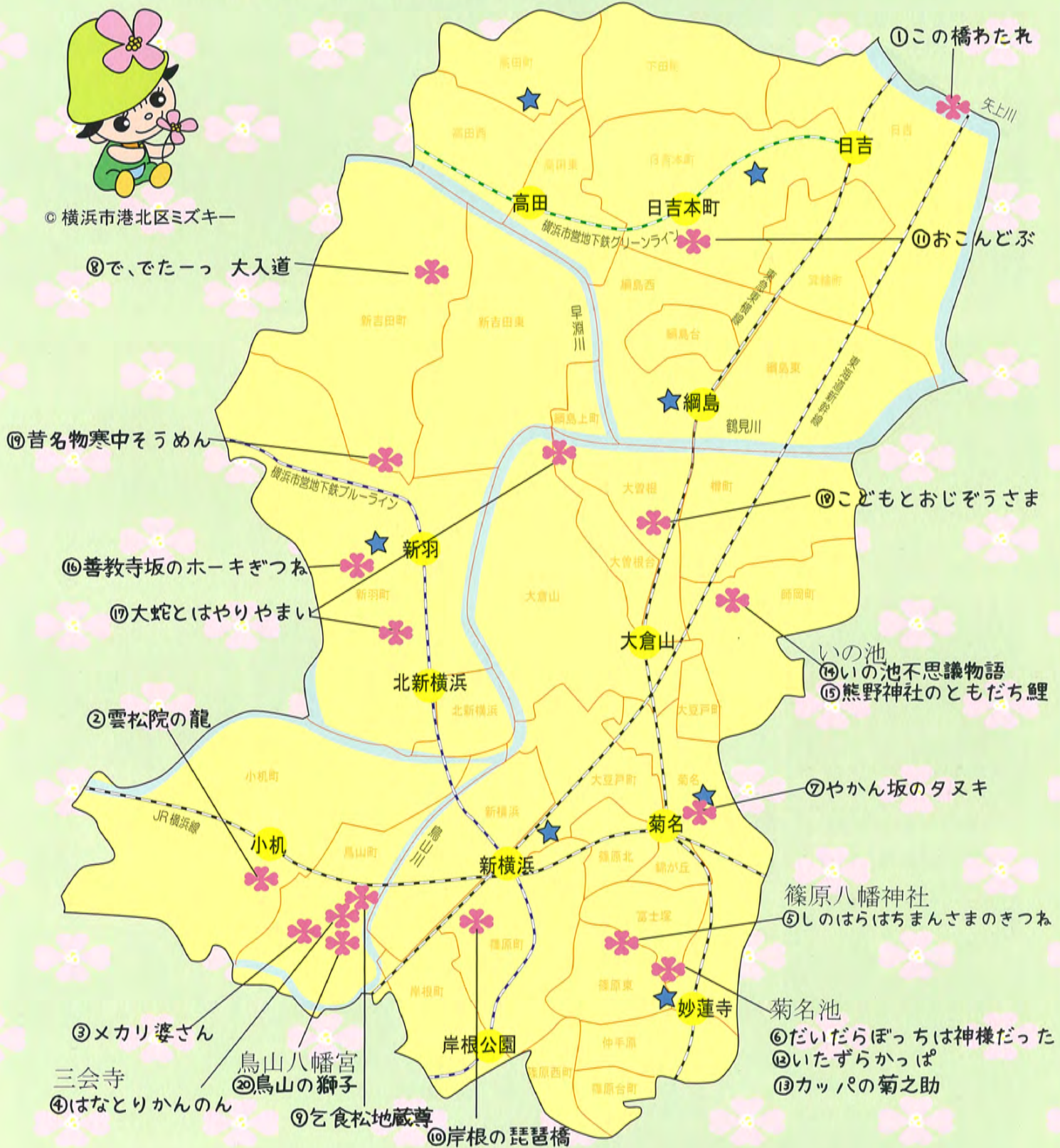


港北の昔ばなし紙芝居 作品紹介

平成 26・27 年度に実施した生涯学級の受講生が、港北の昔ばなしに関する紙芝居を創作しました。この地図は、紙芝居のもととなった昔ばなしや伝説が伝わる地域を示しています。



© 横浜市港北区ミズキー



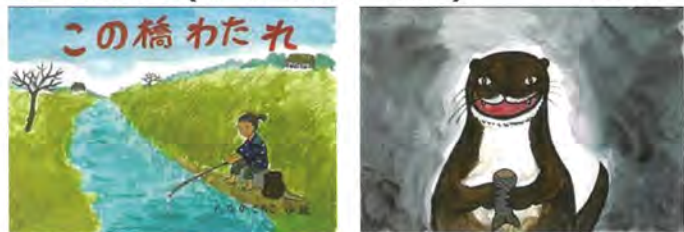
★印=横浜七福神の寺社の位置を示しています。

⑳ よこはま七福神めぐり

※地図内の丸数字は、中面の紙芝居の番号と対応しています。

港北の昔ばなし紙芝居 作品一覧

①この橋わたれ(作・絵 たなか さちこ) 【駒林】



そうめんを入れる木箱を隣村に売りに出かけた「き助」が、矢上川にかかる橋でカワウソに会うおはなし

③メカリ婆さん(作・絵 筒井 珠美) 【鳥山ほか】



12月8日にやってくると伝えられる、妖怪「メカリ婆さん」のおはなし

⑤しのはらはちまんさまのきつね(作・絵 わだ やえこ)【篠原】



医者三島先生が、往診の途中に出会ったキツネの親子との心温まる交流を描いたおはなし

⑦やかん坂のタヌキ(作・絵 大石 規余江) 【菊名】



タヌキがやかんに化けて、坂を転がったことから、「やかん坂」という名がついた、蓮勝寺の脇の坂のおはなし

⑨乞食松地蔵尊(作・絵 川上 あき子) 【鳥山】

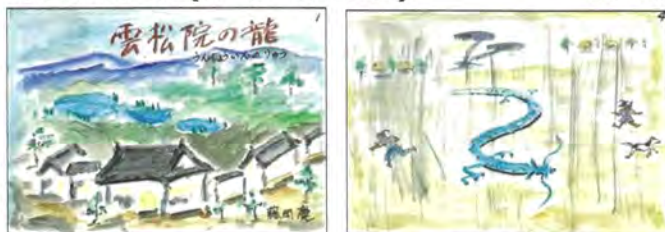


松の下にまつられている、お参りすると虫歯の痛みがおさまると伝えられているお地蔵様のおはなし

⑪おこんどぶ(作 近藤 陽子 絵 なおみ・ようこ) 【駒林】



②雲松院の龍(作・絵 藤岡 慶) 【小机】



お寺の池から龍が現れ、雨の中暴れまわり、和尚さんがお経をあげると天に昇っていったという、雲松院に伝わるおはなし

④はなとりかんのん(作・絵 守屋 厚) 【鳥山】



馬が動かさず困っていた働き者の夫婦を助けた小僧さんのおはなし

⑥だいだらぼっちは神様だった(作・絵 五十嵐 登久恵)【菊名】



心優しい巨人 だいだらぼっちが、尻餅をついたところが菊名池になったというおはなし

⑧で、でたーっ 大入道(作・絵 よしの ひさえ)【新吉田】



新月の夜、真っ暗な道を歩いていると、木の上に白い大入道が現れたというおはなし

⑩岸根の琵琶橋(作・絵 安藤 亜矢) 【岸根】



目が見えない琵琶法師が、橋が枇杷の木でできていることを当てたため、「琵琶橋」と呼ばれるようになったというおはなし

田植えの最中に足場から落ち、底なしのどぶ田に沈んでしまった、おこんの悲しいおはなし

⑫いたずらかっぱ(作・絵 大石 規余江) 【菊名】



トラちゃんと菊名池から飛び出してきたカッパの心温まる交流を描いたおはなし

⑭いの池不思議物語(作・絵 五十嵐 登久恵) 【師岡】



弓矢でケガをした権現様に目をあげたため、熊野神社のいの池の鯉は、みんな片目になったというおはなし

⑬カッパの菊之助(作・絵 松本 麻里子) 【菊名】



しげるとカッパの菊之助が、菊名池で出会い、友達になります。タイムワープして、昔の菊名池を見に行きます。

⑮熊野神社のともだち鯉(作・絵 草加 登起夫) 【師岡】



ひとりぼっちのとき坊が、友達ほしいとつばやくと、大きな木から、いの池に住む「きんぎょ」と「こい太」が飛び出してきました! 3人の心温まる交流を描いています。

⑯善教寺坂のホーキぎつね(作・絵 松井 栄里) 【新羽】



昔、善教寺坂のあたりに住んでいた、ほうきのように立派なしっぽを持つキツネに化かされそうになった保太郎さんのおはなし

⑰大蛇とはやりやまい(作・絵 吉野 久枝) 【大曾根・新羽】



村に病気が流行った時、稲ワラで大蛇を作ったら、大蛇が病気を食べてくれたというおはなし。今も港北区に伝わる伝統行事「注連引き」の由来が分かります。

⑱こどもとおじぞうさま(作 こんどう ようこ 絵 ようこ・なおみ)【大曾根】



昭和の初めまで行われていた、お地蔵さまのそばに捨て子をする風習を紹介しています。

⑲昔名物寒中そうめん(作・絵 よしの ひさえ)【新吉田】



かつて港北区で行われていた、そうめん作りについて、工程や鶴見川との関わりなどを紹介しています。

⑳鳥山の獅子(作 藤岡 けい 絵 藤岡 園生) 【鳥山】



大正 14~15 年頃まで続いていた、鳥山八幡宮の獅子頭を担ぎ、はやり病に苦しんでいる人の家を一軒一軒回る風習を紹介しています。

㉑よこはま七福神めぐり(作・絵 田中 佐知子)【港北区全域】



港北区の「横浜七福神」がある寺社を一つずつ紹介しています。

【紙芝居の分類】①~⑯:地域の言い伝えに基づくもの ⑰~⑳:地域の風習や行事などを伝えるもの ㉑:港北区のスポットを紹介するもの
※⑫と⑬、⑭と⑮は、それぞれ同じ言い伝えに基づく紙芝居ですが、作り手の個性により、全く違う作品になりました。

港北の昔ばなし紙芝居は、下記の区内5カ所の施設で閲覧・貸し出ししています。
読み聞かせなどにご活用ください。

- ①港北図書館(1階まちの情報コーナー)
- ②港北区区民活動支援センター
(港北区役所4階48番)
- ③大倉精神文化研究所附属図書館
- ④菊名コミュニティハウス
- ⑤港北区子育て支援拠点どろっぶ

※原則閲覧のみ
※紙芝居貸出はグループ登録した団体のみ



また、港北図書館1階まちの情報コーナー及び大倉精神文化研究所附属図書館には、港北の昔ばなし紙芝居ライブラリーコーナーがあります。



こちらの看板
が目印です



港北図書館1階
まちの情報コーナー



大倉精神文化研究所附属図書館
紙芝居ライブラリーコーナー

港北区役所2階戸籍課待合ロビーや港北図書館1階まちの情報コーナーでは、港北ふるさとテレビ局が作成した紙芝居動画を上映しています。

港北の昔ばなし紙芝居の作者が、「港北むかしばなし紙芝居の会たまてばこ」を結成し、紙芝居の上演活動も行っています。



港北図書館での紙芝居動画上映の様子



作者による上演の様子

